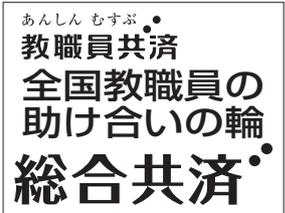




発行人 福島県教職員組合
発行所 福島市上浜町10-38 電話024-522-6141
〔定価一部 20円〕
編集・責任者 國分俊樹
e-mail: ftukyoso@poplar.ocn.ne.jp
http://www.f-t-u.or.jp
(この購読料は組合費に含まれています。)



第97回県教組定期大会 初のオンライン開催 コロナ禍でも「やる時はやる 県教組！」 仲間達から元気をいただきました！



6月5日(土)県教組定期大会を開催しました。5月、県独自の非常事態宣言が出される中、県教組は対面での大会を見合わせ、Zoomによるオンライン開催とすることを決定しました。代議員のみなさんには、大変ご苦勞をおかけしましたが、画面上での討論でも、支部・分会での取り組みが熱く語られ、大変有意義な時間となりました。審議された議案については以下の通りです。

- 提出された修正案16本
 - ・受け入れ 7本
 - ・取り下げ 7本
 - ・採決 1本 (否決)
 - ・取り扱い無し 1本
- ※詳細は、県教組本部にお問い合わせください。
- 原案については、第1号議案～第8号議案まで全て可決



討論には、16人の代議員が参加しました。以下主な討論の内容です。

- ・コロナ禍の養護教員の大変さ。毎日の健康状態の把握と消毒作業が負担。定期健康診断では、密をさけて実施しなければならず、準備が大変に。(田村)
- ・初任者に対するパワハラ事例に支部として取り組み、組合加入につながった。(耶麻)
- ・教育課程編成検討推進委員会で『「学校あるある」を考えよう』の学習会を開催。多忙化解消の実践を報告。各分会での活用が進む。(石川)
- ・スクール・サポート・スタッフの配置枠があっても人材が集まらない現状。賃金・労働条件の改善が必要。そのためには、組合員の役割が重要。職員会議でおかしいことは、おかしいと言えることが大切。(北会)
- ・義務教育学校での問題点。明らかに仕事量が増加している。義務教育学校への安易な移行は、子どもの学びや労働意欲につながらない。(岩瀬)
- ・小規模校では、一人何役も校務分掌を担当。業務量が負担。校務の見直しが必須。(郡山)
- ・ふくしま学力調査の問題点。20年度が中止となっているので、経年観察にならない。子ども達にも負担を強いている。中止を求めていくべき。(安達)
- ・放射線教育対策委員会で作成したりポート集や資料の活用を。(双葉)



福島県教職員組合

LINE公式アカウント はじめました！

ID: @894amadj

最新情報をお届け♪
日々のお悩みも気軽に
ご相談ください！



友だち登録はコチラから!!

ジェンダー平等教育を進めよう!



女性部長
青砥 裕子

定年延長が現実となりました。私たちは、今のような職場環境で、65歳まで働き続けることができるでしょうか?家事も育児も介護も女性が担うのが当然と思われていた時代から、私たちの先輩たちが粘り強く取り組み、勝ち取ってきた権利。男が前で女が後という名簿順に違和感を持っていないことが問題点ととらえ、運動を進めてきた「性別で分けない名簿」。当事者の女性が声を上げ、行動することが社会を変える力になることを、県教組運動を通して実感しています。

2021年、日本のジェンダーギャップ指数(男女格差)は、156か国中120位。特に政治分野においては、147位。政治参画率が高まらないのは、なぜ…。

学校現場にいると一見「男女平等」のように感じますが、コロナ禍で顕在化したように現実社会における男女格差は歴然です。

SDGsにも掲げられているジェンダー平等教育の推進は、もっと重要視しなければなりません。

第70次教育研究福島県集会リポート集にも、実践事例を掲載しました。指導案やワークシート等、詳しい資料がほしい方は、本部までご連絡ください。

おすすめの本

これからの男の子たちへ

～「男らしさ」から自由になるためのレッスン～

太田啓子：著 大月書店

男の子2人の母親でもある弁護士の大田さんが、性差別社会で生きる当事者の問題をまとめた本。男女を問わずすべての人に読んでほしい。TBS「報道特集」でも紹介されました。



女性部の取り組み

寄り添う 支える

分会の中で…。

- 一人ひとりに寄り添う、不安や悩みの解消
- 働きやすい職場環境づくり「私たちの権利」リーフレット活用
情報収集→改善を求め、声を上げていく。



学ぶ

教職員として、女性として、人として…。

- サマーセミナー(兼東北ブロック女性部学習会) 講演「ジェンダー平等の視点から教育に望むこと」
講師：上野千鶴子さん
8月7日(土) 13時 Web開催
- 県教研 「両性の自立と平等をめざす教育」分科会

みんなの声を

届ける

生活と権利を

守る

- 県教委専門部交渉
 - ・ワークライフバランス実現のため、長時間労働の解消の要求。
 - ・介護休暇の拡大、不妊症治療休暇の新設などを要求。

つながる



- 県母と女性教職員の会 オンラインで交流会を予定
- 反核・軍縮・地球を守る福島県集会 あけぼの会(退職女性教職員の会)との共催
- 県平和フォーラム女性協議会学習集会



見直してみました! 「学校あるある」③ その3

県教組教育課程編成検討推進委員会
イメージキャラクター
「元気にカエルくん」

あなたの職場でもやってみよう! 働き方改革 第3弾

まず!

校長は、教職員の「業務の適正化」を図らなければならない。

改善せず↓放置すると

安全配慮義務違反で**違法行為**です!

困ったなあ



でも…

朝自習、業間マラソン… **なかなかやめられない!**

やっぱり基礎学力の定着は大切!
毎日積み重ねないとね。

いやいや、まず体力の増進でしょう。
子どものためです。がんばりましょう!



さらに

コロナ禍でも、例年通りの行事予定!?
なのに新しいことはどんどん増えていくばかり!

普通の授業や生徒指導だけでも大変なのに、タブレット
使って?校務支援ソフトの活用?
え?学年会計とPTAと特設部も?もう辞めたい!



そこで!

「雑談」から始めてみよう!

落ち着いて準備したり、自分が勉強したりする時間も欲しいよね。
いい授業がしたいなあ。

△△タイムって、本当に子どものためになってるかなあ?そもそも学校がやるべきことなの?



私と同じ考えの人がいた!
私だけじゃなかったんだ。
よかった…

それなら、△△タイムをやめて、○○科の授業と別な行事を充実させたほうがいいのかもしれないね。



忙しい今こそ「雑談の力」!!

何気ない雑談 → お互いの意思確認 → 安心感

→ **自分の意見を自由に言える!**

子どものための教育課程編成は『心理的安全な職場づくり』から!

こは学校 Monster



速報! 知って安心 私たちの権利

新型コロナワクチン接種の際、「年休」行使という事例を受け、県教組は、いち早く県教委に申し入れを行いました。6月1日付県教委通知により、以下のようなサービスの取り扱いになりましたのでお知らせします!

新型コロナワクチン接種を受ける場合 (あくまでも希望する場合)

【職専免】

- 時間：接種に要する時間（接種を受けるためによる往復時間も含む）

接種に伴う副反応が発生した場合

【特別休暇】〈有給〉

- 接種に伴う副反応かどうかにかかわらず、職員に発熱等のかぜ症状が見られる場合

*すでに接種を受けた方も、4月1日に遡って適用になります。



みんなのひろば

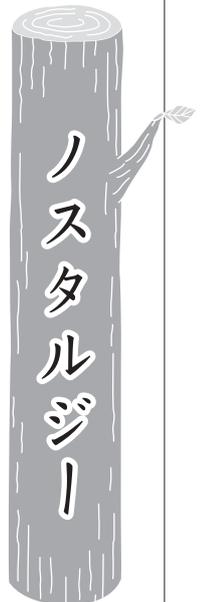
松永牛乳「アイスまんじゅう」

先日、物産館で見つけた逸品!とっても美味しそ
うだったので、ついつい10個、大人買い!家族には
呆れられましたが、なんと!想像以上の美味しさ!
こしあん好きには、たまりませ〜ん。



相双地区を中心にスーパーや道の駅で買えるそうです。そして、な、なんと福島市の「いちい」でも発見しました!ぜひお試しあれ♥ こしあん派のももりん

今回のテーマは「緊急に言いたいこと」



ぼくがなぜノスタルジーというネーミングでこのようなことを書いて
いるのか、それはもっと回を重ねてから書きます。しかし、少しだけ触れる
としたら、読んでくださっているみなさんの心が少しでもワクワクしたも
のになればいいという願いなのです。そこで今回は前回に続き、モジュー
ル学習小学校編を書くつもりでした。しかし、学校現場は大変なこと
になっていてそれどころではないのではないかと気がかかっています。給
特法が改正され、管理者による安全配慮義務が学校にも適用されること
が明確に示されました。そこで四月から学校がよい方に変化するのではな
いかと期待をしていたのです。しかし、学校は一向に変わらないどころか
ひどくなっているようです。たくさん先生の先生が疲弊し、心も体も痛め傷つ
いてます。それにはたくさんの方が起因しているのでしょう。今一番の
課題は、支援が必要な子がたくさんいるにもかかわらず支援の環境が整わ
ないで担任任せになっていることが圧倒的に多いことです。なぜそれが先
生方を苦しめるのでしょうか?

①管理職のマネージメント力不足
医療機関・支援機関につなぐ、保護者との相談、校内支援体制、人員増
員の要請などを迅速的確に行えない。遅い。子どもにも担任にも寄り添え
ない。

②支援する人の増員ができない
タブレットや電子黒板はすぐに入るのに、支援に必要な人は入らない。
そこで七学年が支援するが七学年も各学級も負担増。担任の気持ちは複雑。

③みんないっぱいいっぱい
大変なことがあることは分かっているけど自分の仕事で精一杯。具体的
な援助はできにくい。担任は孤立感を深めていく。

④誤った指摘
授業改善、指導力が必要、去年はこんなじゃなかったなど、意図しては
いないのかもしれないけれど心ない誤った言葉が、私が悪いと担任を追い
詰めていく。

しかし、最大の理由は公教育のシステムです。もはや崩壊状態です。(詳
細次回以降)

原因はすぐには取り除けません。それではどうするか?指導力の問題で
はありません。だから声を上げてください。「助けて、苦しい」と。ひとり
で抱えないで!声を出してください。周りの人に、管理職に、組合に「助
けて、苦しい」と。心と体を深く傷つけないうちに!道はあります。